

# 堺市消防局 SAKAI CITY FIRE BUREAU 火災調査ファイル 10

## 置き忘れたらいやよ——はだかは危ない 簡易ライター



焼けたコンソールボックス

堺市消防局管内では、毎年約 70 件の車両火災が発生しています。

FILE.10 では、車内に置いていた簡易(使いすて)ライターで車が火災になった事例を紹介します。

### (事例 1)

車で帰宅しようと車のドアを開くと、車内から煙が吹き出してきました。幸いにも、火はすでに消えていたため、コンソールボックスと助手席の一部が焼けただけで済みました。

この車は、換気口が閉鎖された状態で、ドアや窓の密閉状態も良く、外気との流通がなかったため、酸欠状態となり自然に火が消えていました。

原因を調べてみると、コンソールボックスの中に入れてあった簡易ライターが、不運にも立った状態で収納されており、ボックスの蓋を閉めたとき、蓋の底板が簡易ライターの発火ヤスリを回転させ出火したことがわかりました。

### (事例 2)

次に乗る人のために電動モーターで運転席を一番後ろに下げ、駐車した約 20 分後に出火したケースです。

これは、運転席(シート)が後部へスライドしたとき、運転席とコンソールボックスの間に落ち込んでいた簡易ライターの発火ヤスリを擦ったために出火しました。

この 2 つの火災は、コンソールボックスの蓋を閉めたり、運転席を前後に動かしたりと、日常的に誰でも行っている行動が、不運にも簡易ライターを点火させ、予期せぬ場所から火災になっています。

簡易ライターやワンタッチ式のライターは、常にこのような危険を含んでいます。

さあ、今一度車の中に置き忘れたライターはないか、チェックしてみましょう。

[>>火災事例一覧へ戻る](#)